

## 第6回コウノトリ未来・国際かいぎ 新型コロナウイルス 感染拡大防止ガイドライン

第6回コウノトリ未来・国際かいぎ(以下「国際かいぎ」という。)の開催にあたり、会場準備/リハーサル/公演当日/会場撤去における、参加者、出演者及び国際かいぎに携わるすべてのスタッフへの感染リスクを軽減し、安全を確保するために新型コロナウイルス感染予防対策を徹底します。

下記に記載する感染拡大防止ガイドライン(以下、「本ガイドライン」という。)は、兵庫県対処方針及び業種別ガイドラインに基づき、新型コロナウイルス感染予防対策として実施すべき対策・方針をまとめたものです。

また、市民交流会～TSUNAGARU ミニフェス～での飲食出店に関しましては、一般社団法人日本フードサービス協会、一般社団法人全国生活衛生同業組合中央会が2020年5月14日に策定し、同11月30日に改定した「日本フードサービス協会 "外食業の事業継続のためのガイドライン"」に準じ、野外開催という実態に即したものと補足・補完したものを対策・方針として遵守します。

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染症に対する最新の知見等を踏まえ随時見直すこととします。

## 参加される皆様へのお願い

事務局がお願いするルールやマナーを遵守できない来場者に対し、参加をご遠慮願う場合があります。

### ◆マナー・ルールをお守りください

国際かいぎに参加する全ての人がお互いへの思いやりを基本に、会場内での感染対策マナー・ルールを遵守し、安全に国際かいぎを開催できるようご協力をお願いいたします。

### ◆マスクの着用をお願いいたします

来場者全員に、マスクの着用をお願いいたします。

ただし、周囲の人と十分な距離(2m以上)が取れている場合には、熱中症、酸素補給の観点から意識的にマスクを外す時間を取るようお願いいたします。

### ◆検温にご協力下さい

当日、自宅等出発前に来場者全員(お子様含む)の検温を行っていただきます。

到着後、入場時の検温検査で37.5度以上の体温が検知された場合、入場をお断りさせていただきます。

体調が優れない場合は参加をご遠慮いただきますよう、お願いいたします。

### ◆咳エチケットは必ずお守りください

咳・くしゃみをする際は、マスクやティッシュ・ハンカチ、衣服の袖・肘の内側などを使って、口や鼻をおさえてください。

詳細は厚生労働省のホームページをご覧ください。

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000187997.html>)

### ◆会場内での会話はお控えください

ロビーを含め会場内では、参加者同士の会話はお控えください。

会議中の発声はお控えいただいています。登壇者への声援は拍手でお伝えください。

### ◆「新型コロナウイルス接触確認アプリ」(通称 COCOA)のダウンロードを推奨

厚生労働省公式「新型コロナウイルス接触確認アプリ」(通称 COCOA)のダウンロードを推奨いたします。

詳細は厚生労働省のホームページをご覧ください。

([https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa\\_00138.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html))

◆**兵庫県新型コロナ追跡システムの登録を推奨**

兵庫県新型コロナ追跡システムの登録を推奨いたします。

登録は、会場でQRコードを読み込んでください。

◆**感染予防対策をお願いします**

会場内外問わず、ご自身で周囲を確認し、身体的距離の確保をお願いいたします。

手洗い、うがいの徹底、こまめな手指の消毒をお願いいたします。

感染防止策がなされていない店舗・施設の利用や、大人数（5人以上）・長時間の会食はお控えください。

**以下の方は  
ご来場をお控えくださいますようお願いいたします。**

- ・新型コロナウイルス感染症の陽性と判定された方
- ・濃厚接触者と認定された方
- ・体調が優れない（37.5° C以上の発熱・咳・下痢・味覚障害・嗅覚障害等の症状がある）方
- ・同居家族や身近な知人の感染が疑われる方
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航及び当該国・地域の在住者との濃厚接触がある方
- ・感染が拡大し、緊急事態宣言等が出ている地域にお住まいの方

## 会場内での取組み／本かいぎ

### ◆入場者数の制限

会場の座席数 1,118 席に対し、50%以下となる 500 席に制限して実施します。  
客席最前列及び各座席の左右を空けて配席いたします。

### ◆入場時の検温

会場入口で、非接触型検温器による体温確認と手指消毒を行います。  
検知結果によっては、改めて体温測定をさせていただき、37.5 度以上の体温が検知された場合、入場をお断りさせていただきます。

### ◆アルコール消毒液による手指消毒

入場される方全員に、アルコール消毒液による手指消毒をお願いします。  
アレルギーなどをお持ちの方は担当スタッフにお伝えください。

### ◆飲食の制限

客席・ロビー内での食事は、ご遠慮いただいております。  
水分補給のため、蓋のついた飲み物（水筒、ペットボトル等）のみロビーでお飲みいただけます。  
昼食弁当をご予約の方については、別途感染防止策を行った食事会場をご用意いたします。

### ◆会場内の清掃強化

手すりやひじ掛け、ドアノブなど、多くのお客様が手を触れられる箇所は消毒液にて清掃を強化いたします。  
そのため、「10月30日（土曜日）午前」終了後は、引き続き「10月30日（土曜日）午後」に参加される方も、荷物を全てお持ちの上ご退出いただきます。

### ◆来場者の不要な接触の回避

当日配布する資料等は、複数の来場者が同じものに触れないよう配慮します。

## 会場内での取組み／市民交流会

### ◆会場エリア内の出店に関して

会場エリア内の出店ブースでは、距離をとって整列をお願いします。  
混雑が予想される場合は、人数制限を行うことがあります。

### ◆会場内での飲食に関して

指定した飲食スペース以外の場所での飲食はご遠慮ください。  
グループ内であっても、同じ食器を共有しない、対面を避けるなど、飲食に際しての感染対策をしっかりと行ってください。

### ◆ステージ前の鑑賞エリアの人数制限

ミニライブの際、ステージ前の入場数を制限いたします。  
鑑賞エリアには、お客様同士が距離を取れるよう、目印となるような目に見えた工夫を施すとともに、適切な距離が保たれていないと判断した場合、スタッフが積極的にお声がけします。

## 感染が疑われる状況が発生した場合

### ◆会場内で体調が悪くなった場合

会場内で体調が悪くなった場合、様子を見るのではなく、早めにご判断の上、お近くのスタッフや受付にご連絡ください。

### ◆感染が疑われる方が発生した場合

感染が疑われる方が発生した場合、速やかに隔離等を行い、人との接触をできる限り避け、発熱等受診・相談センター等に相談の上、直ちに医療機関へ受診に向かうか、帰宅・自宅待機といたします。

保健所から要請があった際は聞き取りに協力し、必要な情報提供を行います。

会場内にて感染が疑われる方が発生した時点で、実行委員会協議の上、それまでの進行を一時中断、またはかいぎを中止する場合があります。

## スタッフ /出演者の取組み

**以下のスタッフ・出演者は  
会場準備から撤収日までの全てにおいて、参加不可といたします。**

- ・新型コロナウイルス感染症の陽性と判定された者
- ・濃厚接触者と認定された者
- ・体調が優れない（37.5° C以上の発熱・咳・下痢・味覚障害・嗅覚障害等の症状がある）者
- ・同居家族や身近な知人の感染が疑われる方者
- ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航及び当該国・地域の在住者との濃厚接触がある者

### ◆検温の実施

会場準備から撤収日までの各日、自宅・宿泊施設での検温を行うことを義務付け、会場入りの際も、検温を実施します。

37.5° C以上の発熱がある場合には自宅・宿泊施設待機など、保健所の指導に基づいた適切な措置をとり、スタッフ・出演者問わず、国際かいぎへの参加は禁止といたします。

### ◆マスクの着用

常時マスク着用を原則とし、必要に応じて、フェイスシールドやマウスシールド、アクリル板、ビニールシートなどを利用します。

### ◆手指消毒の徹底

全てのスタッフ・出演者は、作業等を行う際、事前に手洗いや手指消毒を徹底します。

出演者の装着物は、極力本人が脱着を行う事を前提としつつ、スタッフがケアする場合には都度手指の消毒を行います。

### ◆緊急連絡簿の作成

関係者の緊急連絡先等を記載した名簿を作成します。

国際かいぎ終了後から最低 3 週間保管することとし、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供します。

個人情報保護の観点から、名簿等の保管には十分に注意いたします。

#### ◆定期的な換気と消毒清掃の実施

ホールや控室など、定期的な換気を計画的に行い、椅子やドアノブなど、手が触れる場所は定期的に消毒を行います。

ステージ周辺で作業を行うスタッフは、作業の前後に手洗いや手指消毒を行うとともに、ステージ機器の消毒を徹底して行います。

#### ◆密の回避

壇上や控室等で身体的距離の確保が困難な場合、パーティションやフェイスシールドを使用するなど、身体的距離を置くことと同等の効果を有する措置を講じます。

#### ◆飲食に関して

食事の提供は個別梱包されたお弁当での提供とし、手指消毒の上、一つずつ取れるよう工夫いたします。

食事の際は、互いの距離を確保し、向き合う事のないよう徹底します。

感染予防対策ガイドライン(本書)では解決できないことが起こった場合は、専門家に相談の上、医学的見地に立って判断し、対処します。